

## 〔高度技術教育研究センター〕

### 〔区 分 A〕

#### 堤 主計

##### 超臨界二酸化炭素によるポリ乳酸徐放剤の作製

堤 主計\*1、尾路一幸\*2、畑 和明\*2

\*1新居浜工業高等専門学校生物応用化学科、\*2(財)かがわ産業支援財団高温高压流体技術研究所  
新居浜工業高等専門学校紀要第44巻、pp9-12、(2008.2)

〔概要はp.20に掲載〕

### 〔区 分 B〕

#### 早瀬 伸樹

##### 環境低負荷型船底塗料の開発

早瀬伸樹\*1、山盛直樹\*2

\*1新居浜工業高等専門学校生物応用化学科、\*2日本ペイント株式会社

バイオフィルムの基礎と制御 株式会社 エヌ・ティー・エス 2008年2月

〔概要はp.22に掲載〕

### 〔区 分 C〕

#### 中川 克彦

##### L-ラクチド/ $\epsilon$ -カプロラクトンランダム共重合体のマイクロ波合成

堤 主計\*、岡田 舞\*、松原晴香\*、中川克彦\*

\*新居浜工業高等専門学校生物応用化学科

新居浜工業高等専門学校紀要第44巻、pp37-40、(2008.2)

〔概要はp.23に掲載〕

#### 中川 克彦

##### L-ラクチド/環状カーボネートランダム共重合体の合成と酵素分解性

堤 主計\*、酒藤 潤\*、本多宏行\*、中川克彦\*

\*新居浜工業高等専門学校生物応用化学科

新居浜工業高等専門学校紀要第44巻、pp41-44、(2008.2)

〔概要はp.23に掲載〕

#### 中山 享

##### 各種合成法によって調製したLaFeO<sub>3</sub>の炭素燃焼特性

中山 享\*1、渡邊孝允\*2、辻 久巳\*3、塩見正樹\*3、朝日太郎\*4

\*1新居浜工業高等専門学校生物応用化学科、\*2新居浜工業高等専門学校専攻科生物応用化学専攻、\*3新居浜工業高等専門学校技術室、\*4新居浜工業高等専門学校材料工学科

新居浜工業高等専門学校紀要、第44巻、p. 27-30、2008.

〔概要はp.23に掲載〕

## 中山 享

### 古代ガラスを参考にした透明着色ガラスの作製と熱特性評価

朝日太郎\*1、中山 享\*2

\*1新居浜工業高等専門学校環境材料工学科、\*2新居浜工業高等専門学校生物応用化学科

新居浜工業高等専門学校紀要、第44巻、p. 45-48、2008.

〔 概要はp.24に掲載 〕

## 堤 主計

### L-ラクチド/ $\epsilon$ -カプロラクトンランダム共重合体のマイクロ波合成

堤 主計\*、岡田 舞\*、松原晴香\*、中川克彦\*

\*新居浜工業高等専門学校生物応用化学科

新居浜工業高等専門学校紀要第44巻、pp37-40、(2008.2)

〔 概要はp.24に掲載 〕

## 堤 主計

### L-ラクチド/環状カーボネートランダム共重合体の合成と酵素分解性

堤 主計\*、酒藤 潤\*、本多宏行\*、中川克彦\*

\*新居浜工業高等専門学校生物応用化学科

新居浜工業高等専門学校紀要第44巻、pp41-44、(2008.2)

〔 概要はp.24に掲載 〕

## ( 区 分 E )

## 中川 克彦

### L-ラクチド/ $\epsilon$ -カプロラクトンランダム共重合体のマイクロ波合成

堤 主計\*1、浅尾直哉\*1、岡田 舞\*1、早瀬伸樹\*1、中川克彦\*1、神野勝志\*2

\*1新居浜工業高等専門学校生物応用化学科、\*2日泉化学株式会社

第56回高分子討論会 2007年9月

〔 概要はp.26に掲載 〕

## 中川 克彦

### 抗酸化性評価用オプティカルセンサ素子の開発

山本慎也\*1、堤 主計\*1、間淵通昭\*1、早瀬伸樹\*1、中川克彦\*1、定岡芳彦\*2

\*1新居浜工業高等専門学校生物応用化学科、\*2愛媛大学工学部

第37回複素環化学討論会 2007年10月

〔 概要はp.26に掲載 〕

## 中山 享

### Studies on the characterization of sulfur and coloration in borosilicate glasses

Taro Asahi\*1, Susumu Nakayama\*2, Tokuro Nanba\*3, Hajime Kiyono\*4, Hiroshi Yamashita\*5 and Takashi Maekawa\*5

\*1Department of Materials Engineering Niihama National College of Technology, \*2Department of Applied Chemistry and Biotechnology Niihama National College of Technology, \*3Okayama University, \*4Hokkaido University and \*5Ehime University

7th Pacific Rim Conference on Ceramic and Glass Technology 2007年  
〔 概要はp.27に掲載 〕

### 中山 享

#### **ナトリウム-希土類-ホウ酸ガラスのイオン導電特性**

渡邊孝允\*1、朝日太郎\*2、中山 享\*3

\*1新居浜工業高等専門学校生物応用化学専攻、\*2新居浜工業高等専門学校材料工学科、\*3新居浜工業高等専門学校生物  
応用化学科

第14回 ヤングセラミスト・ミーティング in 中四国 2007年

〔 概要はp.27に掲載 〕

### 堤 主計

#### **環境適応型徐放剤の開発**

堤 主計\*

\*新居浜工業高等専門学校生物応用化学科

平成19年度四国地区6高専産学官交流会 2007年8月

〔 概要はp.30に掲載 〕

### 堤 主計

#### **L-ラクチド/ $\epsilon$ -カプロラクトンランダム共重合体のマイクロ波合成**

堤 主計\*1、浅尾直哉\*1、岡田 舞\*1、早瀬伸樹\*1、中川克彦\*1、神野勝志\*2

\*1新居浜工業高等専門学校生物応用化学科、\*2日泉化学株式会社

第56回高分子討論会 2007年9月

〔 概要はp.31に掲載 〕

### 堤 主計

#### **超臨界二酸化炭素を用いた新規ポリ乳酸徐放剤の開発**

堤 主計\*1、尾路一幸\*2、畑 和明\*2

\*1新居浜工業高等専門学校生物応用化学科、\*2(財)かがわ産業支援財団高温高压流体技術研究所

第56回高分子討論会 2007年9月

〔 概要はp.31に掲載 〕

### 堤 主計

#### **抗酸化性評価用オプティカルセンサ素子の開発**

山本慎也\*1、堤 主計\*2、間淵通昭\*2、早瀬伸樹\*2、中川克彦\*2、定岡芳彦\*3、佐藤嘉洋\*4

\*1新居浜工業高等専門学校生物応用化学専攻、\*2新居浜工業高等専門学校生物応用化学科、\*3愛媛大学工学部、\*4三河  
繊維技術センター

第37回複素環化学討論会 2007年10月

〔 概要はp.31に掲載 〕

### 堤 主計

#### **Studies on controlled-release poly(L-lactide) materials prepared by supercritical carbon dioxide**

C. Tsutsumi\*1, K. Oro\*2, K. Hata\*2

\*<sup>1</sup>Department of Applied Chemistry and Biotechnology, Niihama National College of Technology, \*<sup>2</sup>Research Institute for Solvothermal Technology

The 10th Pacific Polymer Conference 2007年12月

〔 概要はp.31に掲載 〕

### 堤 主計

#### **環境にやさしい高性能徐放剤**

堤 主計\*

\*新居浜工業高等専門学校生物応用化学科

JST平成19年度新技術説明会 2008年3月

〔 概要はp.32に掲載 〕

### 新田 敦己

#### **酸化ビスマス系低融点ガラスの結晶化による強誘電体の作製**

新田敦己\*<sup>1</sup>、大内忠司\*<sup>2</sup>

\*<sup>1</sup>新居浜工業高等専門学校環境材料工学科、\*<sup>2</sup>新居浜工業高等専門学校技術室

日本セラミックス協会 2008年年会 2008年年会講演予稿集 2008年、P. 262

〔 概要はp.39に掲載 〕

## ( 区 分 G )

### 堤 主計

#### **徐放剤**

堤 主計\*<sup>1</sup>、尾路一幸\*<sup>2</sup>、畑 和明\*<sup>2</sup>

\*<sup>1</sup>新居浜工業高等専門学校生物応用化学科、\*<sup>2</sup>(財)かがわ産業支援財団高温高压流体技術研究所

特開2008-037858号 平成20年2月21日

〔 概要はp.32に掲載 〕